

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

| | |
|-------------------------------------|--|
| 研究課題名 (受付番号/承認番号) | 化学放射線療法後もしくは放射線療法後の食道癌に対するアルゴンプラズマ凝固療法の有効性・安全性を検討する単施設後ろ向き研究(B23-159) |
| 当院の研究責任者 (所属・職位) | 医学部消化器内科学 講師 石戸 謙次 |
| 他の研究機関および各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の概要・背景・目的 | <p>アルゴンプラズマ凝固療法(APC)は化学放射線療法(CRT)後の食道癌の治療として当院では実施してきておりますが、一般的に普及した治療法では未だありません。CRT後、放射線療法(RT)後の表在性食道がん(浅いがん)に対するAPC治療によって、臓器温存ができ、また局所制御できているかについての報告はないのが現状です。</p> <p>この研究の目的は、CRTもしくはRT後の食道がんに対するAPCの安全性と有効性を明らかにすることです。CRT・RT後の局所遺残再発病変に対する救済APC治療、CRT・RT後の二次性原発病変(CRT・RT後に新しくできた食道がん)に対するAPC治療、未治療の原発性病変(CRT・RTを行っていない食道がん)に対するAPC治療を後方視的に比較します。CRT・RT後の食道がんにおいて、APC治療の有効性・安全性について評価することは、CRT・RT後の食道がんの取り扱い(治療や治療後の追加切除など)が改善されることが期待できます。</p> |
| 調査データ 該当期間 | 2011年1月1日から2023年12月31日までの情報を調査対象とします。 |
| 対象となる患者さん | 上記期間内に食道がんで当院にてAPC治療を受けられた方 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | <p>利用する情報</p> <p>2011年1月1日から2023年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p> |
| 試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません。 |
| 利用又は提供を開始 する予定日 | 利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から2025年3月31日まで |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | <p>本研究の遂行のための費用は、北里大学医学部消化器内科学研究費を使用します。</p> <p>研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p> |

| | |
|---------|--|
| お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：消化器内科・講師 担当者：石戸 謙次(インドケンジ) 電話：042 - 778 - 8111</p> |
| 備考 | |